

2019年10月2日

一般社団法人 日本半導体商社協会 (DAFS)

経営研究委員会委員長 小野澤 隆

2019年11月8日(金)開催『輸出管理セミナー』開催要領

1. 主 催：(一社) 日本半導体商社協会(DAFS) 経営研究委員会
2. 開催日時：2019年11月8日(金) 14:00～17:00 (受付開始 13:30 より)
3. 会 場：丸文棟本社 5F 大会議室
(中央区日本橋大伝馬町 8-1 地下鉄日比谷線 小伝馬町駅 1 番出口より 3 分)
4. 時間割/演題/講師・略歴：

- ・ 時間：14:00～17:00 (適宜休憩あり)
- ・ 演題：『輸出管理セミナー』～ 日本の輸出管理の仕組みと該非判定のポイント ～
- ・ 講師・略歴：K&M Education Office 林 克也 氏

電子機器メーカーにて輸入業務、品質保証業務、マーケティング業務に従事後、2018年8月から社長直属のアドバイザーとして営業、設計・開発、生産の全部門に横断的な問題解決と全社最適化を推進、同時に新事業分野の方向性を探るためのマーケティング活動にも従事している。元航空機部品の専門輸入商社マンの経験を活かし、輸出入業務プロセスに関する講義や、文系出身者にもわかりやすい「半導体・電子部品の基礎講座」を提供している。日本電気計測器工業会・製品安全・EMC 委員会委員、電気学会・計測安全標準化委員会(IEC/TC66 国内委員会)委員、国際電気標準会議(IEC)TC66 エキスパート(専門技術委員)を歴任。

5. セミナー内容 (講義中適宜休憩あり)

1) 輸出管理とは

- ① 安全保障輸出管理の枠組
 - ・ 輸出管理に係る国際的枠組 等
- ② 我が国の安全保障輸出管理の仕組み
 - ・ 貨物の輸出と技術の提供
 - ・ リスト規制の概要
 - ・ キャッチオール規制の概要等
 - ・ ホワイト国・非ホワイト国 (グループ A、B 等の分類に変更)

③ 過去の違反事例

(2) 貨物・技術の該非判定

- ④ 「該非判定」の手続き
 - ・ 該非判定とは?
 - ・ リスト規制における該当・非該当・対象外とは?
 - ・ 貨物の該非判定の流れとポイント

(3) 実際の判定作業では何をどう行うか?

- ⑤ 半導体・電子部品の規制内容に即した該非判定
→ 該非判定を行う上でのポイント・注意点

※ 経済産業省の資料をベースに上記内容を解説致します。

6. 受講対象者：輸出管理業務に携わっている方やコンプライアンス業務に携わっている方、その他輸出管理に関心をお持ちの方。
7. DAFS 会員受講料：10,000 円／1 人 当日現金で支払い（領収書発行）
8. 参加申込：別紙参加申込書に記入の上、DAFS 事務局宛てに E-Mail にてお申込み下さい。
人数のみの事前予約も受付けます。
9. 締切日：2019 年 10 月 25 日（金）ただし、定員（50 名）に達し次第締め切り。

以上